

幸福実現党は
「中国による『南京大虐殺』『従軍慰安婦』の
ユネスコ記憶遺産への申請に抗議し
日本政府に万全の措置を求める署名
を呼び掛けています

幸福実現党

検索



署名用紙は党公式
 ホームページからダウンロード
 できます。署名は党本部にて取りまとめ、
 内閣府を通じて内閣総理大臣宛てに要
 請を行う予定です。署名用紙は下記の
 締切日必着で党本部に送付ください。

【第一次締切】10月31日(金) 【署名送付先】幸福実現党本部
 【第二次締切】12月4日(木) 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-8
 電話 03-6441-0754

「日本の誇りを取り戻す」
 ねつぞう
歴史の捏造は
許さない
 キャンペーン実施中



幸福実現党 党首

しやくりょうこ
釈量子

1969年、東京都生まれ。
 國學院大學文学部史学
 科卒業。大手家庭紙メー
 カー勤務を経て、1994
 年、宗教法人幸福の科学
 に入局。常務理事など
 を歴任。幸福実現党に
 入党後、女性局長など
 を経て、2013年7月より
 現職。



なかがつた

従軍慰安婦

南京大虐殺

はと



幸福実現党 hr-party.jp

発行所 幸福実現党本部 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-8 電話 03-6441-0754 ©幸福実現党本部 2014年

「南京大虐殺論争」に終止符を打つ 当事者による決定的証言!

幸福の科学グループ創始者 兼 総裁
 幸福実現党創立者 兼 総裁

大川隆法

「公開証言」
 シリーズ

南京大虐殺と
従軍慰安婦は本当か

緊急発刊

南京大虐殺と
 従軍慰安婦は
 本当か
南京大虐殺論争の
 当事者による決定的証言
 松井石根大将の証言



南京攻略の司令官 松井石根大将の証言 1,400円 (税込1,512円)

幸福の科学出版 0120-73-7707 http://www.irhpress.co.jp/

「日本の誇りを取り戻す」
 ねつぞう
歴史の捏造は
許さない
 キャンペーン実施中



立党5周年
幸福実現党

幸福実現NEWS
 THE HAPPINESS REALIZATION NEWS October 2014 Vol.61

マスコミに求められる 国益にかなった報道

8月、慰安婦問題をめぐる報道に関して誤報を一部認めた朝日新聞が9月に入り、「訂正が遅きに失した」と初めて謝罪しました。しかし、「広い意味での強制性はあったと考えている」などと従来のスタンスは堅持しており、同紙の報道が「慰安婦の強制連行」という歴史の捏造を世界に広め、国益を大きく損ねたことへの反省はうかがえません。

朝日新聞には猛省を促すとともに、マスコミ各社に対しても、事実に基づく公正かつ国益にかなった報道を強く求めるものです。

朝日新聞が捏造したのは「慰安婦の強制連行」だけではありません。同紙は1971年、本多勝一記者による「中国の旅」を長期にわたり連載し、「南京事件」があたかも史実であるかのような印象を世間に与えました。その後、同連載は中国が提供する情報に基づいて執筆され、裏付け取材を欠いていたことが判明しています。

朝日新聞は、事実無根の反日プロパガンダにすぎない南京事件を拡散した非も認めるべきでしょう。

コラム 「南京事件」とは

1937年12月に旧日本軍が中華民国の南京を制圧した際、一般市民を含む多くの中国人を殺害したとされる南京事件は、プロパガンダの産物にほかならない。

理由としては、中国政府は犠牲者を30万人と主張しているが、当時の南京の人口は20万人程度にすぎないこと。当時、中国の国民党も共産党も、南京大虐殺を非難するどころか言及しておらず、戦後の東京裁判まで問題とされなかったこと。また、1938年7月に虐殺を報告した英国紙の中国特派員が、国民党の中央宣伝部顧問として同党から資金提供を受けていたことなどが挙げられる。

1937年12月17日、松井石根大将(1878~1948)を先頭に、南京に入城する旧日本軍。虐殺を命令した証拠などないにもかかわらず南京攻略を指揮した松井大将は東京裁判で絞首刑に処された。



昨年夏、わが党の大川隆法総裁が「大川談話—私案—」で解き明かしたように、先の大戦は、「欧米列強からアジアの植民地を解放し、白人優位の人種差別政策を打ち砕くとともに、わが国の正当な自衛権の行使としてなされたもの」と解釈するのが、公正な歴史認識にほかなりません。

日本政府としては歴史認識の見直しを加速させ、慰安婦問題への旧日本軍の関与を認めた河野談話の白紙撤回はもとより、南京事件についても検証し、歴史の真実を国際社会に訴えるべきです。

自虐史観に終止符を!